

サンパウロ州アダマンチーナ市

「アダマンチーナ高齢者ホーム改築計画」

に対する草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約署名式について

在サンパウロ日本国総領事館

去る3月3日(火)、当館においてアダマンチーナ高齢者ホームに対する我が国の草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約署名式をジョゼー・アパレシド・メロ理事長と当館福嶋教輝総領事の間で行いました。

●出席者の挨拶:

1. 福嶋教輝総領事

「1999年より実施されている「草の根・人間の安全保障無償資金協力」による協力は、当館にとって113番目の協力になる。アダマンチーナ高齢者ホームは1953年に設立され、現在は4名の日本人移民を含む53名の方が生活されていると伺っている。現在高齢者の方々が生活している施設は雨漏りや破損等があり改築する必要があった。今回の協力により高齢者の方々がより快適で安全な生活を送ることが可能となることは我々にとっても大変な喜びである。」旨述べました。

2. ジョゼー・アパレシド・メロ理事長

「私達は、日本国政府に協力をしていただいたことに敬意を表するとともに、喜びと感謝の気持ちでいっぱいである。資金協力によって施設を改築することができることに感謝申し上げます。」旨述べました。

3. ジョゼー・マウロ・デル・カンパリ元理事長

「高齢者の保護は、ブラジル政府が責任を負うべきことであるが現状は何ら対策が打たれていない。日本政府がブラジルの抱える問題に対し協力してくれたことに感謝申し上げます。」旨述べました。

#### 4. ノリコ・サイトウ市議会議員

「アダマンチーナ市の団体に日本政府が援助してくれることは日系人である私にとっても誇りであり、感謝申し上げます。」旨述べました。

#### ●案件概要：

「アダマンチーナ高齢者ホーム」は1953年に設立され、現在は4名の日本人移民を含む53名の高齢者の生活サポートを行っています。

高齢者が使用している施設は団体が設立された当初のままであり、建物は雨漏りや破損等老朽化が進んでいたため改築を行う必要がありました。

今回の協力は、施設の改築に75,397米ドルを限度に無償資金供力を行うもので、同施設の高齢者の方々の生活をより快適なものにするものです。

(問合せ先) 在サンパウロ日本国総領事館経済班

(0xx11)3254-0100



福嶋総領事とジョゼー・アパレシド・デ・メロ理事長



署名式出席者